

平成23年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月28日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社和井田製作所
 コード番号 6158 URL <http://www.waida.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月1日

(氏名) 岩崎年男
 (氏名) 名和芳治
 配当支払開始予定日

TEL 0577-32-0390
 平成23年3月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年6月期第2四半期の連結業績(平成22年6月21日～平成22年12月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年6月期第2四半期	2,565	123.3	120	—	108	—	16	—
22年6月期第2四半期	1,149	△54.0	△346	—	△336	—	△369	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年6月期第2四半期	2.52	—
22年6月期第2四半期	△55.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年6月期第2四半期	7,201	4,034	56.0	608.59
22年6月期	7,217	3,985	55.2	601.21

(参考) 自己資本 23年6月期第2四半期 4,034百万円 22年6月期 3,985百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年6月期	—	0.00	—	7.00	7.00
23年6月期	—	7.00	—	—	—
23年6月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年6月期の連結業績予想(平成22年6月21日～平成23年6月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,933	62.4	421	—	393	—	285	—	43.08

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年6月期2Q 7,028,000株 22年6月期 7,028,000株

② 期末自己株式数 23年6月期2Q 399,242株 22年6月期 399,242株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年6月期2Q 6,628,758株 22年6月期2Q 6,696,121株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

平成23年2月2日（水）・・・機関投資家・アナリスト・個人投資家向け決算説明会

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益改善等から設備投資は下げ止まり、受注環境は改善しつつあるものの、円高の長期化懸念及び先行き不透明感を受けて足踏み状態となり、依然として厳しい状況で推移いたしました。

工作機械業界におきましては、内需では工作機械の世界三大見本市であるJIMTOF2010(日本国際工作機械見本市)の効果等により平成22年11月の月次受注総額は平成20年10月以来の300億円超えの309億円を記録いたしました。一方、外需では中国を中心としたアジア地域及び欧州の伸長により回復基調が続いており、平成22年11月の月次受注総額は平成21年1月をボトムとする回復局面で最高額となる967億円を記録し、堅調な回復傾向が続いております。

このような状況の下、当社グループは、JIMTOF2010(日本国際工作機械見本市)に戦略製品を出品するとともに、当社子会社のWAIDA Europe GmbHにおいて内覧会を開催する等、積極的な営業展開を図ってまいりました。また、当社グループのコア技術を活かした特定ユーザーとのコラボレーションを継続的に行い、新事業の創造に努めてまいりました。さらに、製品の一部について内製化を行うことで変動費比率を低減するとともに継続的な固定的経費の圧縮及び生産革新運動の推進等により、業績向上に努めてまいりました。

この結果、当社グループは、当第2四半期連結累計期間において、売上高は2,565百万円(前年同期比123.3%増)、営業利益は120百万円(前年同期は346百万円の営業損失)、経常利益は108百万円(前年同期は336百万円の経常損失)となり、四半期純利益は投資有価証券評価損105百万円等から16百万円(前年同期は369百万円の四半期純損失)となりました。

品目別に業績を示すと、次のとおりであります。

(金型関連研削盤)

国内市場及び中国・アジア地域を中心とした海外市場において、前年同期を大きく上回り順調に推移いたしました。この結果、売上高は1,299百万円(前年同期比190.7%増)となりました。

(切削工具関連研削盤)

国内市場では緩やかな回復基調のもと堅調に推移し、海外市場ではアジア地域を中心に前年同期を大きく上回り順調に推移いたしました。この結果、売上高は877百万円(前年同期比107.4%増)となりました。

(その他の機械)

国内外の市場において、NCプロッター(作図機)を中心として堅調に推移し、売上高は73百万円(前年同期比35.1%増)となりました。

(アフターサービス)

アフターサービス(有償修理)及びメンテナンス部品については、継続的な回復基調を受けて、売上高は315百万円(前年同期比40.5%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ15百万円減少し、7,201百万円となりました。これは、主として商品及び製品が31百万円、仕掛品が96百万円、機械装置及び運搬具（純額）が44百万円増加し、現金及び預金が90百万円、受取手形及び売掛金が100百万円減少したことなどによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ64百万円減少し、3,167百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が90百万円増加し、長期借入金が202百万円減少したことなどによります。

なお、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ48百万円増加し、4,034百万円となりました。これは、主としてその他有価証券評価差額金が85百万円増加し、利益剰余金が29百万円減少したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ90百万円減少し、756百万円となりました。当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、189百万円(前年同四半期は320百万円の減少)となりました。増加の主な内訳は、投資有価証券評価損105百万円、売上債権の減少100百万円及び仕入債務の増加144百万円等であり、減少の主な内訳は、たな卸資産の増加209百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の増加は、5百万円(前年同四半期は2百万円の減少)となりました。これは主として、有形固定資産の売却による収入23百万円及び有形固定資産の取得による支出18百万円等でありま

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、279百万円(前年同四半期は270百万円の減少)となりました。これは主として、短期借入れによる収入400百万円、短期借入金の返済による支出410百万円及び長期借入金の返済による支出222百万円等であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年6月期通期の業績予想につきましては、平成23年1月21日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

② 表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年12月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,196,322	1,287,048
受取手形及び売掛金	1,706,876	1,807,748
商品及び製品	101,925	70,060
仕掛品	1,023,218	926,231
原材料及び貯蔵品	454,012	450,904
その他	107,552	79,982
貸倒引当金	△743	△685
流動資産合計	4,589,164	4,621,290
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	921,981	956,152
機械装置及び運搬具(純額)	302,518	257,856
土地	890,892	898,464
その他(純額)	48,095	42,437
有形固定資産合計	2,163,488	2,154,911
無形固定資産	5,894	6,989
投資その他の資産		
投資有価証券	288,141	308,219
その他	157,936	129,268
貸倒引当金	△3,130	△3,203
投資その他の資産合計	442,947	434,284
固定資産合計	2,612,330	2,596,185
資産合計	7,201,494	7,217,475
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	424,793	334,691
短期借入金	390,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	404,808	425,142
未払法人税等	6,791	10,087
その他	308,741	241,249
流動負債合計	1,535,134	1,411,171
固定負債		
社債	600,000	600,000
長期借入金	812,178	1,014,582
退職給付引当金	75,715	61,635
長期未払金	139,740	139,740
その他	4,530	5,074
固定負債合計	1,632,164	1,821,031
負債合計	3,167,298	3,232,203

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年12月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	843,300	843,300
資本剰余金	881,244	881,244
利益剰余金	2,683,598	2,713,286
自己株式	△310,636	△310,636
株主資本合計	4,097,505	4,127,194
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	20,037	△65,063
為替換算調整勘定	△83,347	△76,857
評価・換算差額等合計	△63,309	△141,921
純資産合計	4,034,196	3,985,272
負債純資産合計	7,201,494	7,217,475

(2) 四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年6月21日 至平成21年12月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月21日 至平成22年12月20日)
売上高	1,149,201	2,565,986
売上原価	859,023	1,603,478
売上総利益	290,177	962,508
販売費及び一般管理費	636,214	842,269
営業利益又は営業損失(△)	△346,037	120,238
営業外収益		
受取利息	546	338
受取配当金	6,069	6,694
受取賃貸料	2,308	1,998
助成金収入	24,236	4,014
受取保険金	10,413	—
その他	3,292	3,496
営業外収益合計	46,866	16,542
営業外費用		
支払利息	29,110	24,769
為替差損	6,405	3,082
その他	2,285	489
営業外費用合計	37,802	28,342
経常利益又は経常損失(△)	△336,973	108,438
特別利益		
固定資産売却益	47	16,217
貸倒引当金戻入額	122	14
特別利益合計	170	16,232
特別損失		
固定資産除却損	1,729	—
投資有価証券評価損	28,334	105,179
その他	—	97
特別損失合計	30,064	105,276
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△366,867	19,393
法人税、住民税及び事業税	2,817	2,680
法人税等調整額	△1	—
法人税等合計	2,816	2,680
少数株主損益調整前四半期純利益	—	16,713
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△369,683	16,713

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年6月21日 至平成21年12月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月21日 至平成22年12月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△366,867	19,393
減価償却費	101,988	88,714
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△10,311	14,080
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△122	△14
受取利息及び受取配当金	△6,615	△7,033
支払利息	29,110	24,769
投資有価証券評価損益(△は益)	28,334	105,179
固定資産売却損益(△は益)	△47	△16,217
固定資産除却損	1,729	—
売上債権の増減額(△は増加)	△357,115	100,689
たな卸資産の増減額(△は増加)	183,871	△209,048
仕入債務の増減額(△は減少)	27,894	144,565
その他の資産の増減額(△は増加)	64,680	△56,470
その他の負債の増減額(△は減少)	8,157	9,519
小計	△295,312	218,127
利息及び配当金の受取額	6,555	7,035
利息の支払額	△28,863	△25,730
法人税等の支払額	△2,908	△9,652
営業活動によるキャッシュ・フロー	△320,528	189,779
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100	—
定期預金の払戻による収入	50,000	600
有形固定資産の取得による支出	△51,744	△18,331
有形固定資産の売却による収入	247	23,580
投資有価証券の取得による支出	△1,219	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,816	5,848
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	400,000
短期借入金の返済による支出	—	△410,000
長期借入金の返済による支出	△232,364	△222,738
リース債務の返済による支出	—	△543
自己株式の取得による支出	△37,941	—
配当金の支払額	—	△46,401
財務活動によるキャッシュ・フロー	△270,305	△279,682
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,437	△6,071
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△603,087	△90,126
現金及び現金同等物の期首残高	1,793,401	846,348
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,190,314	756,222

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成22年6月21日至平成22年12月20日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年6月21日至平成21年12月20日)

当社及び連結子会社の事業は、工作機械の製造・販売業の単一セグメントでありますので、事業の種類別セグメント情報は記載していません。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年6月21日至平成21年12月20日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年6月21日至平成21年12月20日)

	中国	アジア地域 (中国を除く)	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	105,798	149,226	13,974	268,999
II 連結売上高(千円)	—	—	—	1,149,201
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	9.2	13.0	1.2	23.4

(注) 1 海外売上高は、提出会社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

2 国または地域の区分方法及び各区分に属する主な国または地域

(1) 国または地域の区分は、地理的接近度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域

中国 …………… 中国

アジア地域(中国を除く) …………… 台湾、韓国、東南アジア地域、南アジア地域等

その他の地域 …………… 米国、ヨーロッパ地域、アフリカ地域等

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成22年6月21日至平成22年12月20日)

当社及び連結子会社の事業は、工作機械の製造・販売業の単一セグメントでありますので、セグメント情報は記載していません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

当社グループは、「3. 四半期連結財務諸表 (5)セグメント情報」に記載のとおり、工作機械の製造・販売業の単一セグメントでありますので、生産、受注及び販売の状況につきましては品目別に記載しております。

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品 目	生産高(千円)	前年同期比(%)
金型関連研削盤	1,304,371	242.0
切削工具関連研削盤	933,055	225.7
その他の機械	74,803	128.5
アフターサービス	315,665	140.5
合 計	2,627,896	212.7

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品 目	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
金型関連研削盤	1,226,315	251.5	734,742	263.4
切削工具関連研削盤	1,665,752	215.2	1,245,700	326.6
その他の機械	36,467	34.8	10,361	19.1
アフターサービス	315,665	140.5	—	—
合 計	3,244,199	203.9	1,990,803	278.6

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品 目	販売高(千円)	前年同期比(%)
金型関連研削盤	1,299,363	290.7
切削工具関連研削盤	877,352	207.4
その他の機械	73,606	135.1
アフターサービス	315,665	140.5
合 計	2,565,986	223.3

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
株式会社タンガロイ	364,358	31.7	—	—
株式会社然湖電子	125,400	10.9	—	—

(注) 当第2四半期連結累計期間の株式会社タンガロイ及び株式会社然湖電子については、当該割合が100分の10未満のため記載を省略しております。